

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2014年9月号 通巻69号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2014

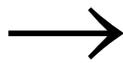
責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## ハクビシンはアナグマに似ている？

確かに似ていなくもないかも



アナグマ



クマを太くした  
アナグマ

≠



ハクビシン

似てる？

東京都23区にもごく少数のアナグマが生息していることは既に報告した通りです。ただ生息数が非常に少ないため写真に撮られることはめったにありません。ようやく今年7月に2つ目の証拠写真が得られたばかりです。

### 顔の真ん中に白線？

これまでの2件の写真付き目撃情報では奇妙な一致点がありました。それは、どちらも目撃情報提供者がその動物を「ハクビシン」と申告したことです。もちろん、私が写真を確認したのでハクビシンではなくアライグマであることは簡単にわかりました。ですが見慣れていない人にとっては判別は必ずしも簡単なことではないようなのです。

ハクビシンの顔は「黒地で、顔の真ん中に白い線」、アナグマの顔は「白地(ベージュ色)で、目のまわりだけ黒」というのが特徴です。かなり印象が違うはずなのですが、アナグマも「顔の真ん中に白線」に見え

なくような…。そこで試しにアナグマの目のまわりの黒模様の面積を増やしてみました(上のイラスト。黒模様の面積は個体差があるのでこのような顔もありうるのです)。うむ、なるほど、顔の真ん中に白線がありますね。アナグマを知らなければハクビシンとってしまうこともあるでしょう。しかしやはりアナグマとハクビシンは別の動物です。鼻がピンクなのがハクビシン、というも見分ける方法になります。

### どこで見分ける？

動物を見分けるのに顔だけに頼るのはあまりよくありません。その他の違いもマスターしておきましょう。まず体型は、アナグマは幅がありますがハクビシンは細身です。アナグマの尾は下に垂らしても地面に届かない程度の長さ。ハクビシンは尾がとにかく長く、胴体の長さに匹敵するほどです。

運動能力の違いもポイントです。ハクビシンは樹木や塀に登ることが

できるだけなく、電線を歩くこともできます。かなりの運動能力です。アナグマの運動能力についてはまだ情報不足なのですが、高いところに登る例はないようです。電線を歩くならばそれはハクビシン(またはアライグマ)です。

動物がこの2種だけなら判別もまだ楽なのですが、東京都23区には他にもタヌキ、アライグマというこれまたよく似た動物が生息しています。あなたはこれらをきちんと判別できますか？ いつか遭遇する日のためにぜひ予習をしておいてください。東京タヌキ探検隊！ホームページではこれらの動物をイラストで比較したページを用意しています。予習に活用してください。

## スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>